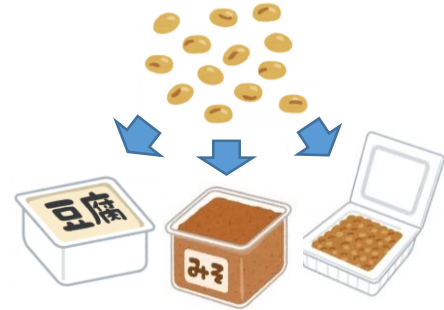


# 白大豆を作付けしましょう

人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響等により、主食用米の需要は、毎年、減少傾向にあります。転換作物として、国産需要が高まっている白大豆を作付けませんか。

## ○ 県産白大豆の需要状況

- ・ 白大豆は、県内向けの豆腐や味噌、納豆の原料として使用されており、安定的な需要があります。
- ・ 一方で、生産量や品質が不安定であることから、需要に応えられていません。



## ○ 白大豆と米の所得比較

白大豆は収量が確保できれば、主食用米より高所得が期待できます。

(単位：円/10a)

作物	反収 (kg/10a)	販売額	交付金	粗収入	経営費	所得
白大豆	180	31,816	63,290	95,106	72,000	23,106
	100	17,676	50,717	68,393	72,000	▲ 3,607
主食用米	520	105,447	-	105,447	85,000	20,447

※経営費は岡山県経営指導指標から

※主食用米の販売額は農林水産省統計「令和4年産米の相対取引価格（12月速報）」岡山きぬむすめ12,167円/60kg、大豆の販売額は公益財団法人日本特産農産物協会R1～R3「入札取引結果」の落札価格の平均値10,605円/60kgで試算

※交付金は畑作物の直接支払交付金R5年度課税事業者向け平均交付単価9,430円/60kg、戦略作物助成35,000/10aで試算

※畑作物の直接支払交付金の対象者は、認定農業者、集落営農、認定新規就農者

## ○ 大豆栽培上のポイント

団地化による作業の効率化、暗渠施工による排水対策、雑草対策、病害虫対策、畦間かん水による高温・干ばつ対策、適期収穫による収量、品質の向上がポイントです。

▶ 詳しくは、お近くの農業普及指導センターへご相談ください。

## ○ 大豆の生産拡大に活用できる事業

- ・ 水田麦・大豆生産技術向上事業《国庫事業》  
又は、産地生産基盤パワーアップ事業（麦・大豆機械導入対策）《国庫事業》  
【事業概要】  
生産拡大に必要な施設・機械の導入費用 など 【補助率：1/2以内】  
実施主体：農業者の組織する団体、地域農業再生協議会 など

- ・ 水田農業の担い手育成対策事業《単県事業》  
【事業概要】  
大豆の規模拡大に必要な機械・施設の導入費用 【補助率：1/3以内】  
実施主体：大規模経営を目指す経営体、集落営農組織、農業法人 など

※事業実施には各種要件があります。また、事業内容等は変更される場合があります。

▶ まずは、お住まいの市町村へご相談ください。